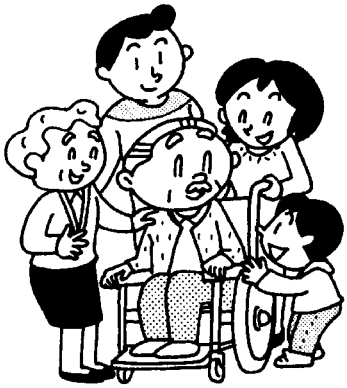


# 平成18年4月に「障害者自立支援法」が施行 障害者福祉サービスが変わります



平成18年4月から「障害者自立支援法」が施行され、障害者福祉サービスの利用方法や障害者医療の受給方法が大きく変わります。

現行の支援費制度の対象となっている身体障害、知的障害、障害児に加え、精神障害も対象となり、身体・知的・精神の3障害の福祉サービスが一元化されます。

また、支援費制度では障害者福祉サービスの一部が対象となっていますが、障害者自立支援法では、医療給付を含め、障害者福祉サービスのほとんどすべてが対象となります。

一方、サービス利用にかかる自己負担については、利用量による定額の負担をいただくほかに、食費などの実費も負担いただくことになります。また、扶養義務者や世帯の考え方が支援費制度と異なっています。

## 新しいサービスのしくみと負担

**障害福祉サービス** 介護給付と訓練等給付に分かれます。4月から費用の原則1割が負担となります。

●介護給付 障害程度が一定以上の方に、生活に必要な介護を給付します。

居宅介護・療養介護・重度訪問介護・行動援護・生活介護・児童デイサービス・短期入所・重度障害者等包括支援・共同生活介護・施設入所支援

●訓練等給付 自立した日常生活や社会生活ができるよう、必要な訓練などを行います。

自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・共同生活援助

**自立支援医療** これまで別々の制度であった更生医療、育成医療、精神通院医療が1つの制度になります。

4月から医療費の原則1割が負担となります。

**補装具** 補装具の購入や修理にかかる費用を支給します。10月から原則1割が自己負担となります。

**地域生活支援事業** より身近な地域で実情に応じた総合的な支援体制を向日市が実施します。

相談支援事業・移動支援・コミュニケーション支援・生活サポート事業など

## 障害者自立支援法の説明会

平成18年4月に施行される障害者自立支援法について、制度の概要や諸手続きについての説明会を次のとおり開きます。

●日時/2月12日(日)

【午前の部】午前9時30分(開場9時)

【午後の部】午後1時30分(開場1時)

※午前、午後とも同じ内容です。

●場所/市民会館



## まちの話題

成人式が行われ、569人が大人の仲間入り  
人生の節目を迎え気持ちを新たに



▲代表で誓いを述べる永田さん(左)と政田さん(右)

成人の日の1月9日、向日市では569人が新成人となりました。市民会館で行われた成人式には、418人が出席し、気持ちを新たにしました。

新成人を代表して、永田雅崇さんと政田千明さんが「我々の子孫が受け継ぐときに恥ずかしくないように、一人前の大人として努力します」と誓いの言葉を述べました。

分列行進、一斉放水などを披露  
「火災のないまちへ」消防出初式が行われる



▲力強い足取りで行進する消防団員

1月15日、消防出初式が行われ、消防署員、消防団員など200人以上が分列行進や一斉放水などを行い、今年一年の無火災を願いました。

分列行進は力強くきびきびとした動作で行われ、消防団員たちは、会場を訪れた人々の目に頼もしく映っていました。

## 急病にも消防車が出場することがあります

救急出場件数の増加に伴い、救急活動も複雑化・多様化してきており、救急隊だけでは、活動困難なことが多くなってきました。

乙訓消防組合では、これに対応するため、通報時点で救急隊だけでは活動が困難と予想される場合は、消防車も同時に出場する体制を始めました。

救急車と消防車が同時に出場することで、急病やケガをした方をより安全に、より迅速に病院に搬送することができます。

市民の皆様の安全を確保するための出場体制について、ご理解とご協力をお願いします。

☎乙訓消防組合消防本部警防課 ☎953-6038

## 市民体育館「スポーツデー」

●日時/2月25日(土) ○午前10時～正午

○午後0時30分～2時30分 ○午後3時～5時

●参加費/各時間1人300円(当日受付)

●種目/バドミントン、卓球、バスケットボール

●持ち物/体育館シューズ、ラケット(貸出可)、シャトル(貸出可)、ピン球(貸出可)、ボール(貸出可)

☎市民体育館 ☎932-5011

お問い合わせ

障害者高齢者支援課障害者福祉係(内線307)

## タウンミーティング

情報

■日時/12月21日(水) 午前10時5分～11時5分

■場所/京都西山高校 多目的ホール

■参加者/京都西山高校の生徒会の3年生7人、市長、政策企画室長ほか

■テーマ「高校生から見た向日市について」

初めに、久嶋市長から「今日は京都西山高校の生徒会の皆さんとミーティングをさせていただくことを楽しみにしていました。高校生の皆さんの目からみて、向日市の良いところ悪いところの率直な意見をお聞かせください。今後の市政の参考にさせていただきたいと思います」とあいさつがありました。

その後、意見交換となり、「JR向日町駅から阪急東向日駅の踏切までの道路は、歩道がない箇所があり、あっても狭くて歩きにくい。雨の日は、傘をさして歩くと車が近くを走り怖い」との意見には、「急激に人口が増え、宅地開発が先行したため道路整備が遅れています。府道ではありますが、早急な整備が必要であると思っています」と答えました。

また、「生徒会では空き缶のリングプルを収集し車椅子と交換する活動をしています。3年間で達成、

タウンミーティングの情報は、市役所の情報公開コーナー、または市ホームページ「e-市長室」をご覧ください。

## TOWN MEETING

「共有」「共鳴」そして「共生」のまちづくり

車椅子に交換し、カンボジアの子どもたちに役立っています」との取組みには「生徒会の伝統を引き継ぎ、すばらしい活動をされています。きっとカンボジアの子どもたちも喜んでいらっしゃる。これからも続けてほしいと思います」と答えました。

その他、「ボランティアで清掃活動をしているが、道端にごみが多く、公園にごみが散乱しています」「街灯が少なく暗い場所があります」「路上駐車があり登校時、歩きにくい」との意見がありました。

また、自分が市長になったら何をしたいですかの質問では、「明るく、安全なまちにしたい」「若者とお年寄りが集まれる場所をつくり、交流できるようなまちにしたい」「歩行者が安心して歩けるように、道路の幅を広くし、歩道や手すりのある安全なまちにしたい」などの意見がありました。



お問い合わせ 政策協働課(内線280)